

●西九州道路の進捗について
●子ども議会(ふるさとプロジェクト会議)について
●水産振興について、畜産業の現状について

●西九州道路に関して、議会として早期完成に向け要望活動を行っている。進捗状況と平戸ICについて尋ねる。
建設部長 全体計画140kmのうち約7割の92kmが供用されている。松浦IC、平戸IC間の7.5kmは、令和7年度中に開通予定。平戸市単独の要望活動もこれまで同様実施していく。
文化観光商工部長 商工会議所と商工会より提出された平戸IC開業効果の最大化に向けたアクションに係る提言書を踏まえて考えていく。

●子ども議会からふるさとプロジェクト会議に移行した経緯と議場などで開催し広く市民に見える形を。
教育長 計画と準備に関わる子どもや学校の負担が大きい事などから令和3年度に移行した。平戸市の未来について子どもたちができることや考えることを取り入れられる会議として生まれ変わった。議場の使用については、教育委員会の一存では言えないが、広く市民に対して映像を配信できる会場を検討する。
●水産の現状と水揚げ量の多い魚種などについてどのような状況か。
農林水産部長 令和5年度は9名が新

●物価高騰で漁船の維持管理に影響が出ている。漁船エンジンオーバーホールなどに対する助成ができないか。
農林水産部長 水産振興協議会にご意見を伺い事業として研究する。
●畜産業(繁殖農家)は子牛価格の更なる下落により大変厳しい状況。これまでの投資を無駄なくしっかりと産地を守る必要がある。そうした中で次の支援ができないか。緊急対策として子牛価格下落の支援、物価高騰の支援、中期的対策として高能力母牛群の整備、受精卵移植と技術者育成支援。長期対策としては繁殖経営から一貫経営に対する支援など。
市長 生産現場と流通現場の課題を取りまとめ、市ができること、県への要望、国の支援と複合的に取り組む。

●観光の再生と中心商店街の活性化について
●ずっと住みたいまちづくりと生涯学習の推進について

●観光の現状と、今後、観光を平戸の基幹産業としてどのように持続可能なのある産業へと再生していくのか、その展望について尋ねる。
市長 減少した宿泊客や観光客を取り戻し、魅力とにぎわいがある観光地平戸の再生をしたいと考えている。
●観光地平戸の再生は一朝一夕にはできない。長期的な再生に取り組んでいくつもりがあるか。
文化観光商工部長 滞在時間の延長と観光消費額の増加が課題となっている。質の観光による観光地平戸の再生を目指し、地域の魅力づくり戦略、誘客戦略、体制整備の3つの戦略を融合させながら取り組んでいく。
●平戸の基幹産業として観光を育てていくには、観光地としての魅力を向上させる必要がある。黒壁スクエアのような「商店街の観光地化」もその一つの方策であると考えているか。
文化観光商工部長 商店街が自主性を持って新たな取組にチャレンジする意欲があれば応援するという認識に変更はない。
●市が主体性を持って商店街の振興策を図るという考えはないか。

●夜間景観基本計画(案)と夜間景観ガイドライン(案)について寄せられたパブリックコメントへの対応は。
建設部長 これらに対する反対意見はなく、一定の賛同を得られたものと理解する。個別の意見と回答については、ホームページで公開予定。
●県道田ノ浦平戸港線の街路灯がまぶしく、せつかくのほのあかりがかき消されている現状について、県との調整は進んでいるのか。
建設部長 田平土木維持管理事務所と現場確認し、問題提起を行っている。課題は道路照度の確保。照度を確保しつつ、ほのあかり事業の効果を最大限に引き出すための改善について、引き続き県に働きかけて行く。
●例えば教会など、既にライトアップされている建物に向かう道の照明、崎方公園下の遊歩道をはじめとする散歩コースの照明などは、今後計画的に設置されていくのか。
建設部長 寺院と教会が見える道エリアの夜間景観形成は必要と認識しており、崎方公園下の遊歩道は、ほのあかりで照らされた平戸城下旧町地区の町並みや、平戸港の遠景を眺望できる視

●夜間景観基本計画(案)と夜間景観ガイドライン(案)について寄せられたパブリックコメントへの対応は。
建設部長 これらに対する反対意見はなく、一定の賛同を得られたものと理解する。個別の意見と回答については、ホームページで公開予定。
●県道田ノ浦平戸港線の街路灯がまぶしく、せつかくのほのあかりがかき消されている現状について、県との調整は進んでいるのか。
建設部長 田平土木維持管理事務所と現場確認し、問題提起を行っている。課題は道路照度の確保。照度を確保しつつ、ほのあかり事業の効果を最大限に引き出すための改善について、引き続き県に働きかけて行く。
●例えば教会など、既にライトアップされている建物に向かう道の照明、崎方公園下の遊歩道をはじめとする散歩コースの照明などは、今後計画的に設置されていくのか。
建設部長 寺院と教会が見える道エリアの夜間景観形成は必要と認識しており、崎方公園下の遊歩道は、ほのあかりで照らされた平戸城下旧町地区の町並みや、平戸港の遠景を眺望できる視

●西九州道路の進捗について
●子ども議会(ふるさとプロジェクト会議)について
●水産振興について、畜産業の現状について



神田 全記 (新蒼会)

●市政懇談会から見えてきた行政の問題、課題について



松尾 実 (政和会)

各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧くださいませ。

●西九州道路に関して、議会として早期完成に向け要望活動を行っている。進捗状況と平戸ICについて尋ねる。
建設部長 全体計画140kmのうち約7割の92kmが供用されている。松浦IC、平戸IC間の7.5kmは、令和7年度中に開通予定。平戸市単独の要望活動もこれまで同様実施していく。
文化観光商工部長 商工会議所と商工会より提出された平戸IC開業効果の最大化に向けたアクションに係る提言書を踏まえて考えていく。

●物価高騰で漁船の維持管理に影響が出ている。漁船エンジンオーバーホールなどに対する助成ができないか。
農林水産部長 水産振興協議会にご意見を伺い事業として研究する。
●畜産業(繁殖農家)は子牛価格の更なる下落により大変厳しい状況。これまでの投資を無駄なくしっかりと産地を守る必要がある。そうした中で次の支援ができないか。緊急対策として子牛価格下落の支援、物価高騰の支援、中期的対策として高能力母牛群の整備、受精卵移植と技術者育成支援。長期対策としては繁殖経営から一貫経営に対する支援など。
市長 生産現場と流通現場の課題を取りまとめ、市ができること、県への要望、国の支援と複合的に取り組む。

●夜間景観基本計画(案)と夜間景観ガイドライン(案)について寄せられたパブリックコメントへの対応は。
建設部長 これらに対する反対意見はなく、一定の賛同を得られたものと理解する。個別の意見と回答については、ホームページで公開予定。
●県道田ノ浦平戸港線の街路灯がまぶしく、せつかくのほのあかりがかき消されている現状について、県との調整は進んでいるのか。
建設部長 田平土木維持管理事務所と現場確認し、問題提起を行っている。課題は道路照度の確保。照度を確保しつつ、ほのあかり事業の効果を最大限に引き出すための改善について、引き続き県に働きかけて行く。
●例えば教会など、既にライトアップされている建物に向かう道の照明、崎方公園下の遊歩道をはじめとする散歩コースの照明などは、今後計画的に設置されていくのか。
建設部長 寺院と教会が見える道エリアの夜間景観形成は必要と認識しており、崎方公園下の遊歩道は、ほのあかりで照らされた平戸城下旧町地区の町並みや、平戸港の遠景を眺望できる視

●夜間景観基本計画(案)と夜間景観ガイドライン(案)について寄せられたパブリックコメントへの対応は。
建設部長 これらに対する反対意見はなく、一定の賛同を得られたものと理解する。個別の意見と回答については、ホームページで公開予定。
●県道田ノ浦平戸港線の街路灯がまぶしく、せつかくのほのあかりがかき消されている現状について、県との調整は進んでいるのか。
建設部長 田平土木維持管理事務所と現場確認し、問題提起を行っている。課題は道路照度の確保。照度を確保しつつ、ほのあかり事業の効果を最大限に引き出すための改善について、引き続き県に働きかけて行く。
●例えば教会など、既にライトアップされている建物に向かう道の照明、崎方公園下の遊歩道をはじめとする散歩コースの照明などは、今後計画的に設置されていくのか。
建設部長 寺院と教会が見える道エリアの夜間景観形成は必要と認識しており、崎方公園下の遊歩道は、ほのあかりで照らされた平戸城下旧町地区の町並みや、平戸港の遠景を眺望できる視